



ひゅーまんらいふ

第 112 号 平成 22 (2010) 年

人権啓発パネル

が加わりました。

「企業の社会的責任(CSR)って何? ~どんな企業を選びますか~」

「企業の社会的責任(CSR)」という言葉聞いたことがありますか。企業がどのようなことを重視し、どのような活動をして、社会にどのような影響を与えているのかについて、消費者である私たち自身の生活の見直しにも触れながら解説しています。

- ・ 5 枚組・タペストリータイプなので持ち運びに便利です。
- ・ 人権情報センターで貸出しています。ご利用ください。



~ 企業での人権啓発活動を推進しています ~

企業の活動は、地域社会に対して大きな影響を及ぼし、人権問題解決への大きな原動力になります。企業での人権研修を通して、人権尊重に満ちた明るい職場づくり、さらには社会の一員として活動することで、人権感覚に満ちた「住みよい明るい社会」の実現につながっていきます。

企業内での人権研修に関するご相談がありましたら、人権政策課（電話 23 - 5415）までご連絡ください。

米子市同和問題企業連絡会

米子市内に事業所を有する 10 社が発起人となり、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決を目的に、1996 年 11 月に米子市同和問題企業連絡会（略称：米子市同企連）が設立されました。（会員企業数 74 社・2010 年 3 月現在）

主な活動は、会員企業のトップや事務担当者（推進員）、新規採用職員など対象別の人権研修を開催しているほか、県内外の人権に関する研修会への参加費の助成等を行なっています。

入会などのお問合せは、同企連事務局（人権政策課内：23 - 5415）までご連絡ください。

3月のイベント案内

米子市中央隣保館 識字研修

『識字運動に学ぶ』



日 時：2010（平成22）年3月31日（水） 13:00～15:30

場 所：米子市中央隣保館

講 師：大阪府富田林市立人権文化センターの識字教室より3名の方に来ていただきます。

清水順子さん（吉田一子さんの娘さん、母の姿をみてきて

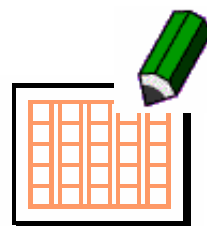
浮穴正博さん（識字教室ボランティア）

遠坂さん（大阪府富田林市立人権文化センター職員）

それぞれの立場でお話をさせていただきます。意見交換もあります。

お誘いあわせておでかけください。

問合せ先：米子市中央隣保館 （電話 / F A X : 0859-33-5928）



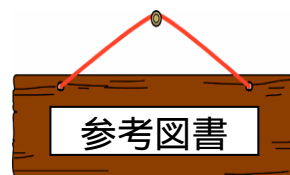
大阪府富田林市立人権文化センターの識字教室に通う吉田一子（かずこ）さん、84歳。仕事や家事に追われ、還暦を過ぎるまで全く読み書きができず、自分の名前さえ書くことができなかった。識字教室で、鉛筆の持ち方から習い始め、あいうえおの練習に励む。挫折を重ねながら、やがて日記や作文が書けるようになった。心の奥底にしまい込んできた感情、「悔しさ」や「悲しさ」があふれ出してきた。

そして70歳の時、「なまえをかいた」と題する作文を書き上げる。そこには、貧しくて学校に行けなかった少女時代の悲しい思い出や、自分で自分の名前が書けなかったために、銀行で年金が下ろせず悔しい思いをした体験談などが、切々とつづられている。

吉田一子さんをモデルにした絵本「ひらがなにつき」（絵・長野ヒデ子）が、最近地元の有志たちの手によって出版され、話題となっている。これをきっかけに、吉田一子さんの元には、地元の小中学校などから数多くの講演依頼が舞い込むようになった。未来のある子どもたちに、自分の体験を自分の言葉で語り伝えることが、一子さんの今一番の生きがいになっている。世界有数の教育先進国と言われる日本。その陰で、貧困や差別のため教育が受けられないまま、年を重ねてきた“非識字者”は少なくない。

吉田一子さんの日常を通して、文字を学ぶことの原点を見つめる。

（NHK放送：E T V特集「なまえをかいた～吉田一子・84歳～」ホームページより）



「ひらがなにつき」

若一の絵本作成実行委員会/文
長野ヒデ子/絵

人権情報センターで
貸出しています！

